

令和7年度事務事業評価（令和6年度事後評価）

保健福祉部

所属名	事務事業名	ページ番号
三瀬診療所	国民健康保険三瀬診療所運営事業	2

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	国民健康保険三瀬診療所運営事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	三瀬診療所	担当課長名	古谷 憲一
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	17健康づくりの推進と保健・医療の連携	
	基本事業	中山間地域の医療の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	村内及び近隣に民間の医療機関が無い三瀬村に歯科を含む診療所を開設・運営し、地域医療の提供と保健事業を行う。 これにより、安心して医療を受けることができる体制を整え、住民の疾病の予防・重症化を防ぎ、健康を維持していく。				
事業の対象者	主に三瀬地区の国民健康保険の被保険者及び住民				
令和6年度主な活動実績	・医科診療日数 289日 ・歯科診療日数 244日 ・住民を対象とした健康講話の開催 1回 ・流水浴を使用した運動教室 1コース3日×2回				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	52,413	47,067	44,407	37,609	47,484
うち佐賀市の負担額	0	0	0	0	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
1日当たりの延べ患者数 (医科)						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
18	21 17	21 17	21 17	21 17		

成果指標②						単位
1日当たりの延べ患者数 (歯科)						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
10.6	13 10	13 9	13 8	13 9		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和6年は、医科は横ばい、歯科は微増となった。村内の人口減（定期受診されていた高齢者の方が亡くなったことや施設入所等）やコロナ禍から続く受診控えが主な原因だと思われる。



今後の改善策、対応策等
新型コロナウイルス感染症の影響もほぼなくなり、患者数の回復が望まれるところではあるが、村内の高齢化が進んでおり、場合によっては、患者数は減少する可能性がある。見方によっては、患者数が減ったとしても、原因が健康維持によるものであれば、目標の一部は、達成できたものと評価できる。 今後も安心して医療を受けられる体制を整え、地域の「かかりつけ医」となるべく、訪問診療の拡充及び診療機会の適切な提供と健康維持につながる保健事業を継続して行っていく。